

寒椿
インモラル



二〇二〇年十一月
刀剣乱舞同人#10
関ノ山

山姥切長義×
山姥切国広(極)×
山姥切国広(布)

成人向け





二〇二〇年十一月
刀剣乱舞同人会
闇ノ山

山姥切長義×
山姥切国広(極)
山姥切国広(布)

成人向け





お前
その目…!

目…?

何故
山姥切と同じ

瑠璃色なんだ…!

その日俺は

あまりにも
美しいその緑青に



恋をした



寒椿
イン
モラル

Attention

- ！このお品には“ちよ”がくには“と”と“んぱんぱ”の表現があります。
- ！無理矢理の性描写があります。
- ！本誌と写し×2の3Pがあります。
- ！写しの髪や顔の色が本誌の色になる描写があります。
- ！ハッピーエンドではありません。
- ！作者はフィーリングで書いてます。



おや

山姥切国広でしたか



……

0。

長鏡

ああ
分かっているよ

二編目は平鏡、だろうか？
あとは海がやっておくから
任せておけ

頼みます

さす、
この本丸には既に
山姥切國正がいる
さっき俺が言った通り
この本丸では基本
二編目以降は全て
海賊が制するものにな
っている

悪いがお前も

ああ、わかった

……

三やけに
物分りがいいな

不満ではないのかな

不満も何も
それがこの
仕業りなの
だろう？

なら俺に
文句を言う
態合いはない



あんなの？

ああ
案内するよ

そら、来い



…まあいい
じやあ早速…
と言いたいところ
なのだけど

生憎、

その山麓切園庄は
これから遠征に
行く予定でね

戻ってくるまでは
僕の部屋で過して
もらおうよ



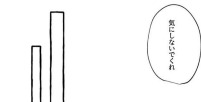
…ああ





すまない本歌







こゝが
俺の部屋だ

奥にもう一つ
部屋がある

お前にはその
部屋で寝てもらおう



ああ



俺はこれから
夜戦があるから
空けるが

くれぐれも勝手に
部屋を出たり
物に触れたり
しないでくれよ









誰だよさっき
文句はないです
みたいなこと
言っていたやつは！

うっわ
うっわ
うぜえ
!!!



……どうせ俺は
そんなことも
できない等しいだ

匿物とてず
振ってくれ



それに？

それに！



あんな風……？

ああ



俺はきつと

あんな風には
なれないから



あの偽物の
ことか

ッ…!?

俺はッ



偽物なんか
じゃない!!

ああもう煩いな
俺があいつを
何て呼ぼうが
俺の勝手だろうが

だが寧ろは

チッ

しつこいな

俺が間違っ
はすがないだろ





偽物なんだよ

あつこ



山崎切の糸で
顔を売っている

偽物



お前の
噂聞者だ

それを磨て
今夜は磨ろ



ほら



…あなたの
名前で…?

そう



いや、
何でもない



……



食事は後で
式が配給しに
来る



物分りが
いいんじゃない

ただ



期待を
殺している

そう



そんな感じだ



何…

?



ん…!!







要らないんだ

ツアア

うあっ

ならどうして
謝罪させなかつた

はずなのに

国広ッ

俺は必要と
されていなかった



少し考え事を
していた

ああいや
すまない

ばーっとして
どっか具合でも
悪い？



どうしたの
山崎切さん



そっか

具合悪くなったら
すぐ言ってね！

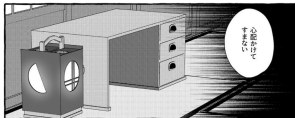


ああ
ありがとう

乱



山崎切さん
すぐ考え込む癖
あるから







まだだめだ

な...

山姥切っ...

じつとじつと

？

あっ



は、随分と
想像力が
豊かなようだ

ツ……
あんた本当に

趣味が悪いぞ……!

そうかな

俺はいい方だと
思うんだけど?

ははっ

期待している
とささる悪いけど

してない

俺は今から
出陣しなくちゃ
いけなくてね

早く行け



これ



その前に



くれるかな



つけています



好きに
すればいい



……



更々
なくせに



俺に格古権を
与えるつもり何て



加州 藤岡賢
望丸 要研

厚、明石…
次の遠征の
編成伝達…

それと…

実、それは？

政府からの
伝達事項です

遠征の帰還
早々に申し訳
ありませんが
それを長瀬に
渡しといてだけ
まじんか

山本切に…
だきあいうほ今

ええ
外出中です

なめて部屋に
届けておくだけで
構いません

……



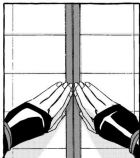
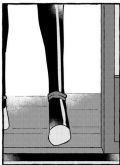
その度に
ひどく胸が痛む

いっそもうなんて
なくなってしまうは
楽だろうに

なんて

刀には暫くな
傾み事だ











何故
山姥切と同じ

瑠璃色なんだ



…山姥切国広は
元々こうでは
ないのか？

本当はあなた
みたいな色を
しているのか？



…なら
消えてしまった
のかもな



…少なくとも僕が
今まで見てきた
山姥切国広は
皆俺と同じ色だった

…そうか

あんなに
されたら
そうなるか

……この本丸は
基本的に同じ刀を
複数所持しない

主はそういうつもりで
お前を顕現させたんだ

さあ
俺も知らない

ただ俺はあんたに
習合されるために
ここにいたんだ

そうなの

か……

……

なあよつ

何だ……









まるで

俺はきつと
だめだ



あんたを
殺してしまう

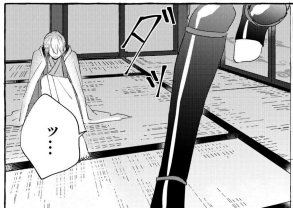
心臓が二つ

あるような

どうか慈悲を
くれないか



あんたに
殺されたい





……そうか

なら友は
もう少し強めに
結ぼうか

ギョ……

……

どういふ風の
吹き回しかな

そんなに俺が
恋しかった？







壊れてしまえ









なら
そのまま

決して
呼ぶなよ

じゃあ
あんたも

「国広」と
呼ばないでくれ

ああ

努力するよ

差し詰め
俺は――

ただの
玩具だ



.....

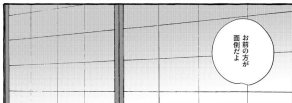


何？

なあ













夢…？

何だ…？

……くん

体が
あつい！

俺は…

国広…

俺の名前…？



名前なんて…

どうして



おれは—

は…

おれは

—







今日は
山姥切國広が
非常なので
伝達は俺が
担当する



よし

全員揃ったな



今回の連戦は
夜戦の嵐！
つまり夜戦が
メインとなる
イベントだ



なので、第二、
第三部隊隊長の
山姥切長義と
にっかり青江には
しっかりと指揮を
任せたい

ああ任せなよ

問題ないよ





おい……
聞いている
のか？



すまない
目隠しで戸の
位置がわから
なかった



そ……
そうか



髪が……
銀に染まっている……

もし彼や山姥切
以外の誰かが見ても

いいです
山姥切国広だとは
思わなそうだし

それで
何を聞きに
来たんだ

それは……

一先ず中に
入れてもらえないか

……ああ



…お前

山崎切と
同義している
だろう

……

その時の感覚が
俺にも染込んだ

直に触れら
れていると
錯覚するほどに

……まさか
感覚が

繋がっている？

ならあんたも
染かったんだな

は？

そんなわけっ……

そっか





頼む



自分では
外せないんだ



……



わかった…







俺は以前

この本丸の
初期刀を
抱いたことがある



その日は本丸で
久々の宴会が
開かれ、

酒も入ったことで
俺の機嫌は
すこぶる良かった



だからそれは
たまたまだった



縁側に腰掛け
一人でちびちびと
酒を酌する姿を見て

ただ
どうしようもなく





構ってやりたく
なったのだ

少し付き合いなよ



やがて先程と
同じように
直先へと視線を
戻すと



寧ろはそんな俺に
少し驚いた表情を
見せたが

面白いだろう？

好きに
すればいい

とだけ呟いた



最近行った甘味屋が
美味かったのだ

勧められた本が
面白かったのだ

そんな
取り留めのない
話ばかり



それから僕たちは
静寂もないことを
話した



それでも今まで
あまり話をした
ことがなかった
僕たちからすれば

それは非常に
ひとときだった



そうして飲む酒は
この上なく美味く

知らずのうちに
かなりの量を
飲んでいた

先に倒れたのは
写しの方だった





眠った写しを
わざわざ
抱きかかえて

部屋で寝かせて
やろうと思う
くらいには



二度思うが
その日の俺は

すこぶる機嫌が
良かったのだ



写しの部屋は
とても暗黒だった



俺はそう思い至り
つまらない奴だと思
った



本丸が養育して
もう数年は経つ
だろうに

きっと物を持っ
てにぎほだ
洞窟や秘境が
ないだろうと



ほ……んか……？



んん……

だが……



これは……
串めか……？





正直



可愛いと思った



んっ...

お前さん



写しは大した抵抗も
見せず相愛わらず
ぼうっとしている



初めて
口づけをした



酒精によって
朱を差した瞳と
潤んだ唇



薄く開いた
唇と



目眩がした



手に入ると思った

国広……

取り戻せると思った



それから俺は
写しの身体を開き

知らぬと……うなど
残さぬほどに



願いて



願いて



願いて



種さぶられ
摩滅としている
写しに

これは全く
事なか



されどそうして
おきながら

俺は



喘ぎ続けた





それはっ…



ころするもの
なのだろう？



あんだに
喜んで
もらいたい

通ったのか？
ならあんだの
良い方法を
教えてくれ



なあ

んばんばの中へ

へえ

これはまた
随分と

お楽しみ
なようだね？

山姥切!?

また勝手に
目隠しを取って

本歌さんが乱入（ミソ子だ）したり



俺は
山姥切国広



これで最後に
してくれ



愚かな同位体だ



同じ存在である
あんたに惹かれた